

本日、我が麗澤瑞浪中学・高等学校の入学式を挙行いたしましたところ、衆議院議員古屋圭司様、瑞浪市長水野光二様をはじめ、ご来賓各位にはご多用のところご臨席を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

中学生46名、高校生102名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ麗澤での学校生活のスタートです。本校の中学校と高等学校の入学試験によって合格を果たした皆さんの入学を、我々教職員ならびに在校生一同、とても楽しみに待っておりました。これから3年間または6年間、どうぞよろしく願います。また、保護者の皆様、ご家族の皆様には、素晴らしい、そして、大切なお子様を本校に入学させていただき、厚くお礼を申し上げます。皆様との協力、連携を大切にしながら教育活動を進めて参りますので、どうぞよろしく願います。

麗澤瑞浪では、全国から集まった、さまざまな個性の生徒たちが学校生活を送ります。さらには約半数の生徒たちは、寮において24時間の共同生活を送ります。なぜ、このような手間のかかる学校運営を続けているのでしょうか。

社会に目を向けると、自分の時間を自由に使い、ある目的を効率的よく達成できるタイプの学校がとても人気があります。多様性を受け入れるという観点からは、選択肢が増えることはとても良いことです。ただ、学校とはいったい何をするために存在するべきなのか。少し心配なところもあります。

学校は、大学や社会へ出ていくための、予備的学校ではいけません。
生徒や保護者の個人的なニーズを満たすだけのサービス業でもいけません。
利便性が高いことをだけ売りにしてはいけません。

学校は本来、自分の思い通りにいかないことを経験し、自分自身の課題を友達や周囲の大人の力を借りながら克服することで、大人になるための準備をするところです。集団のルール、社会のルールを経験して、人間関係の葛藤を経験することで、将来、地域や組織、国の未来の行く末を真剣に考えることができる社会の構成メンバーである大人へとになっていく準備をする場所であるべきと考えます。

近い未来、世界でリーダーシップを発揮して活躍する皆さんには、「異質な他者とうまく関係を取り結び、自分なりの役割を果たしていく」ことが求められます。だからこそ皆さんには、多感な中学・高等学校の時代にこそ、自分とは異なる価値観や考えを持った人に囲まれ、深く関わり合う機会・環境を大切にして欲しいと考えています。自分とは異なる他者への共感性が高まれば、それぞれの個を尊重し、お互いの良いところを認め合える寛容性が身に付き、より良い社会を実現していくことができます。それは、本学園の創立者、廣池千九郎先生が追い求めた世界人類の安心・平和・幸福の実現に一步近づくことになるのです。

みなさんがこれから生活をする麗澤瑞浪の「麗澤」という言葉は、中国の古典『易経』の「象に曰く、麗ける澤は兌びなり、君子以て朋友と講習す」という言葉からとったものです。「並んでいる沢が、お互いに潤し合い、周囲の草木もその沢のお陰によって青々と生い茂っている。これと同様、立派な人間になろうとする者は、すぐれた師のもとで、志を同じくする友と切磋琢磨し、人格の完成をめざす努力をすべきである」という意味があります。

学校は、失敗を避けるところではなく、たくさん失敗をして、その分大きく成長することができる場所です。どうぞ安心してください。皆さんが躓いてころんでしまったときには、そっと手を差し伸べてくれる仲間や先輩、保護者や先生がいます。転んでしまうことを畏れてはチャレンジすることはできません。転んでもいいのです。立ち上がる力と勇気を持てばいいのです。

これからこの学校で共に学びあう生徒同士、教職員と生徒、教職員と保護者の皆さんなどが、お互いを尊重し、深く関わり合い、高め合っていける関係性を育んでいきましょう。

私も、皆さんの【私の未来は私が創る】という志を本気でお手伝いさせていただきます。

この学校での3年間・6年間の学校生活・寮生活は、苦労や葛藤もありますが、それ以上に、共に生活する仲間とは、季節がめぐる中で、「嬉しい」も「悲しい」も「楽しい」も分かち合えるすばらしい友になります。深い絆で結ばれた友との関係は、これから先の人生の節目においても、お互いに祝い合ったり、支え合ったりできるものへと進化を遂げ、より一層、人生を豊かにしてくれるかけがえのない財産になると思います。

最後になりましたが、私たち教職員は、まずは師弟同学の心構えで自己研鑽に努め、「教える」よりも「育てる」という温かな心でお世話をさせていただきます。保護者の皆様方におかれましては、親子共学の心構えで、子どもたちの成長を願い、私たちと一緒に共に学びを深めていただければ幸いです。

では、皆さんが、「誇りある麗澤生」となれんことを願って、私の「入学式」の式辞とさせていただきます。

ご入学、おめでとうございます。

令和6年4月7日 麗澤瑞浪中学・高等学校校長 藤田知則